



1 家庭の蛇口交換を行う様子  
3 独立支援制度で入社した社員

2 会社のロゴ  
4 夢会議に熱心に参加する様子

## 若手が夢を語る会社をつくる 独立開業や事業承継も支援

(株)小池設備 代表取締役 小池 重憲 氏

小池設備（南区西大沼）は1972年に“まちの水道屋”として創業し、水道工事業を営んでいます。マンションやビルなどの耐火構造物、戸建てやアパートといった木造構造物の給排水空調設備、水道土木工事を展開。一般家庭や企業、店舗、管理会社、不動産物件のオーナー向けに、水回りのリフォームやメンテナンスも手掛けています。人手不足の建設業界にあっても、毎年高卒をはじめとした若手を全国から採用しているほか、社員の独立開業や事業承継も支援しています。今回は、同社の小池重憲社長にインタビューしました。

景に廃業が増え、地元の建設会社や土木工事業者の一事業部として吸収されるといったことが起きています。こうした中で、弊社で技術を身に付けて一人前となり、出身地で独立してほしいという思いを込めています。水道工事業では、6年も経てば、一通りの仕事がこなせるようになるため、『最短6年で社長に』としました。将来はこうして当社から巣立った人材が、それぞれの地域で活躍してもらいたいです」

採用において「最短6年で社長に」という文言を掲げられています。

「前提として、日本全国で水道工事業者の数が減っているという現状があります。地方では後継者難を背

■各地に社長を輩出することで、後継者難にあえぐ水道事業者の存続にもつながるということでしょうか。

「そうですね。単に当社から独立するだけでなく、事業承継にもつながると考えられます。実際に水道工事業者はもとより、リフォーム業者や電器店の2代目、3代目といった人材も、武者修行のような形で当社に入社しています。先般も地元の大阪に帰った元社員がいました。彼は6年間仕事を頑張った後に、祖父が経営する水道工事会社に戻りました。このことが周りの従業員にもよい刺激となり、好循環が生まれ始め社内活性化にもつながっています」

■若手が主体の「夢会議」を開いているそうですね。

「当社は『夢を叶える企業になる』というスローガンを掲げています。特に、若手が夢を語れないとすれば、それは環境が悪いせいだと考えています。このため、社内で夢を語る場を設け、1カ月に一度、参加希望の若手社員と「夢会議」と名づけた研修会を開催しています。各自の夢や職人像、その夢を実現するために今やるべきことなどについて、じっくり語り合うのです。そこでは、夢を実現するためのプロセスやアプローチまで考えてもらっています。そうすることで、自分が何をしたいのか、そのためには何をしなければならぬかが明確になり、行動が変わった社員も出てきています」

■建設業部会の部会長としての抱負をお聞かせください。

「これまで私どものような専門業者から部会長が出ることは珍しかったのではないかと思います。左官業や内装業、電気工事業といったさまざまな専門業の方々の意見も反映できるように、活動をしていければと考えています。また、既存会員に加えて、新規に加入された方々も含め、地元相模原の再開発などについて、幅広い視点で議論し、建設的なアイデアを集めていければと思います」

(株)小池設備

〒252-0332  
相模原市南区西大沼1-18-2  
TEL：042-754-8181  
<https://koikesetsubi.com/>